

進行/再発 大腸癌/
術前(試験)/術後(試験)

mFOLFOX6療法レジメン

進行/再発 大腸癌/術前 (臨床試験6コース)/ACHIEVEtrial (6or

C-03-1

< 14日間隔 >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	第7~14 日目
治療内容								
検査	採血	○						
診療	副作用の問診	○						
	検査結果	○						
治療中止 基準	①WBC 3000未満 ②血小板 10万未満 ③発熱・CRP上昇 ④PS 2以上	臨床試験(術前) ①好中球1200未満 ②血小板 5万未満 ③AST, ALT100以上 ④Scr1.5以上 ⑤感染を疑う発熱(38℃以上) ⑥下痢・口腔粘膜炎G2以上 ⑦(末梢性感覚ニューロパシーG3以上は5-FU/I-LV)						ACHIEVEtrial 研究実施計画
点滴	①生食100ml +アロキシ0.75mg +デキサート3.3mg×2A 【30分】	↓						
	②5%ブドウ糖250mL レボホリナート(200mg/m ²) 【2時間】②'と同時に	↓						
	②' 5%ブドウ糖250mL エルフラット(85mg/m ²) 【2時間】②と同時に	↓						
	③生食50mL 5-FU(400mg/m ²) 【全開】	↓						
	④生食500mL 5-FU(2400mg/m ²) 【46時間】	↓						

看護のPoint!!

口内炎、下痢の可能性もある。持参薬に7-ファリンがあれば主治医に報告(5-FUとの相互作用あり)

エルフラットによる過敏症症状に注意。呼吸困難感、かゆみ、発赤、皮疹など。

主治医に報告し、次回からガモファー注とボラミン注の前投与を考慮する。(ガモファー錠と材料シ錠でもエルフラットによって末梢神経障害が起こりやすい。まずは冷たいものの接触を避ける。

投与時間は多少前後してもいいが、エルフラットは2時間以上かければ大丈夫

12コース)

第15日目
○
○
○

ial
書参照

↓
↓
↓
↓
↓

可能)